

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問7）に答えよ。

（隈研吾^{くまけんご}『日本の建築』による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 傍線部1「その基本は、大陸より伝わった合理的な木造フレームによる開放的な住居形式であったが、寝室部分のみは塗籠と呼ばれる土壁で作られた閉鎖的空間であった。」とあるが、このような建築について端的に表現した箇所を、本文の第一段落・第二段落から二十一字で抜き出して書け。

問3 傍線部2「建築においても、武士は大陸を乗り越える契機を作った。」とあるが、武士は建築のどのような点において「乗り越える契機を作った」と言うのか、説明せよ。

問4 空欄

に入る最も適当な言葉を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 新しさを振り捨て古さに立ち返って

イ 海外と日本の欠点を克服すること

ウ 時代の流行を反省し伝統を尊重して

エ 東洋と西洋のよりよい点を融合して

オ 日本文化の両端をつなぐようにして

問5 傍線部3「西欧との接触・交換が日本を形づくっていったのである。」とあるが、このような西洋の日本に対する役割を端的に表した語句を、第五段落から第七段落までの中から漢字二字で抜き出して書け。

問6 傍線部4「『建築の経済化』というシステムの先駆であった。」とあるが、これは千利休のどのような点を言うのか、説明せよ。

問7 傍線部5「利休というたぐいまれな建築家・エンジニア」とあるが、「たぐいまれな」と言うのはどうしてか、五十字以内で説明せよ。(ただし、句読点も一字とする。)

第2問

次の文章は、読売新聞に掲載された「名曲を訪ねて」の一節である。これを読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（「七つの子」『愛唱歌ものがたり』（読売新聞文化部）による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 空欄 A に入る最も適当な言葉を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア に違いない イ わけはない ウ という結果になる エ という誤算が起こる オ と願いが叶う

問3 空欄 B に入る最も適当な語を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア そこで イ だが ウ 従って エ すると オ だから

問4 傍線部1「十五年前にもらった一通の手紙」とあるが、これはどのような内容か。次のアゝオの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 頻繁にカラスがマンションに来てベランダの植木鉢に餌を埋めて父母に迷惑をかけるので困っている、ということ。

イ 頻繁にカラスがマンションに来てベランダの植木鉢に餌を埋めるので、そのひどい行いをどうにかしてほしい、ということ。

ウ 頻繁にカラスがマンションに来てベランダの植木鉢に餌を埋めているので、対処する方法を教えてください、ということ。

エ 頻繁にカラスがマンションに来てベランダの植木鉢に餌を埋めて困っていたが、カラスに手紙を書いたらうまくいった、ということ。

オ 頻繁にカラスがマンションに来てベランダの植木鉢に餌を埋めるので、来ないでほしいという依頼の手紙をカラスに書いた、ということ。

問5 傍線部2「今、都会に住みついているカラスは、哀れなものです。」とあるが、そのように述べられたカラスのイメージを表した表現を、ここより前の文章から抜き出して書け。

問6 傍線部3「あの貧しい時代の方が実は幸せだったのではないか。人も、カラスも。」とあるが、「カラス」が幸せだったというのはどうしてか。「あの貧しい時代」の状況を踏まえて説明せよ。

問7 傍線部4「本当に『勝手』なのはカラスの方だろうか。」とあるが、この問いかけには、人間に対するどのような思いがあるか、説明せよ。

問8 傍線部5「孫娘の口を借りて今、野口雨情が真意を語っているのだ」とあるが、孫娘の話から『七つの子』に込めた野口雨情の「真意」とはどのようなものだと考えられるか。当時の野口雨情の状況を踏まえて説明せよ。